

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

＜相馬市沖L 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L－2	○	○	○	○	○	○

＜相馬市沖L 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透明度（m）
L－2	37.8155°	140.9763°	R6.9.11	11:26	11:48	26.9	27.2	砂	5Y3/1	貝殻,植物片	0.9	>0.9

＜相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
L－2	37.8155°	140.9763°	R6.9.11	11:26	8.1	1.0	2.2	6.9	4710	31.96	1.4	3	1.7	N.D. (0.0015)	0.0061	0.00098

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点																					
L－2	37.8155°	140.9763°	R6.9.11	11:48	7.8	278	30.7	3.0	3.3	2.700	0.2	0.2	15.6	68.1	6.2	9.7	0.16	9.5	0.88	80	N.D. (0.11)

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜相馬市沖L 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	R6.8.24	藻類・植物	－	－	－	－	プランクトン（浮遊藻類）	－	0.022	－	－	－	1.6	N.D. (1.1)	1.6	－
				R6.9.11	藻類・植物	単子葉植物	イバ ^{アモ}	アモ ^モ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	－	0.22	－	－	－	0.89	N.D. (0.33)	0.89	－
				R6.8.21	藻類・植物	緑藻	アサ ^サ	アサ ^サ	<i>Ulva pertusa</i>	アナアオサ	－	0.24	－	－	－	3.1	N.D. (0.35)	3.1	－
					節足動物	軟甲	エビ ^モ	テナガ ^モ エビ ^モ	<i>Palaemon</i> sp.	スジエビ属	49	0.020	未成体/成体	－	－	N.D.	N.D. (1.3)	N.D. (0.97)	－
					節足動物	軟甲	エビ ^モ	モクス ^ガ ニ ^ニ	<i>Hemigrapsus</i> sp.	イソガニ属	239	0.34	未成体/成体	－	－	1.7	N.D. (0.32)	1.7	－
					節足動物	軟甲	エビ ^モ	ウカリ ^ガ ニ ^ニ	<i>Charybdis japonica</i>	イシガニ	1	0.063	成体	－	－	N.D.	N.D. (0.85)	N.D. (0.60)	－
					軟体動物	二枚貝	かき ^キ	イカ ^ボ か ^キ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	30	0.20	－	－	軟体部	0.80	N.D. (0.27)	0.80	－
					軟体動物	二枚貝	マ ^ル ス ^ガ レ ^カ イ ^イ	マ ^ル ス ^ガ レ ^カ イ ^イ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	48	0.12	未成体/成体	－	軟体部	0.42	N.D. (0.51)	0.42	－
					脊椎動物	硬骨魚	ササ ^コ	フサ ^サ サ ^コ	<i>Sebastes cheni</i>	シロメバル	8	0.26	未成魚	－	－	0.37	N.D. (0.30)	0.37	－
					脊椎動物	硬骨魚	スス ^キ	ハセ ^モ	<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ	14	0.013	未成魚/成魚	－	－	N.D.	N.D. (2.6)	N.D. (2.0)	－
					脊椎動物	硬骨魚	スス ^キ	ハセ ^モ	<i>Acentrogobius virgatulus</i>	スジハゼ									
					脊椎動物	硬骨魚	スス ^キ	ハセ ^モ	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ									
					脊椎動物	硬骨魚	スス ^キ	ハセ ^モ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ									
					脊椎動物	硬骨魚	スス ^キ	ハセ ^モ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ	110	0.74	未成魚/成魚	－	－	1.6	N.D. (0.35)	1.6	－
					脊椎動物	硬骨魚	スス ^キ	ボ ^ラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ	71	0.76	未成魚	－	－	10	N.D. (1.2)	10	－
					脊椎動物	硬骨魚	フカ ^モ	フカ ^モ	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ	5	0.23	成魚	空胃	内臓除去	1.1	N.D. (0.59)	1.1	－

※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、 除去して測定した。

※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※７：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。